

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症の人の数は現在全国で500万人を超え、65歳以上の高齢者の7人に1人が認知症と言われています。認知症は誰にでも起こりうる、とても身近な病気です。

そのため、市では「予防」活動と共に、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる「共生」の地域づくりに取り組んでいます。

共生

「認知症の人が尊厳と希望を持って認知症と共に生きる」
「認知症があってもなくても同じ社会で共に生きる」

予防

「認知症になるのを遅らせる」
「認知症になっても進行を緩やかにする」

認知症とともに生きる希望宣言

【(-社)日本認知症本人ワーキンググループ】

認知症と共に希望をもって生きていける地域社会をめざし、認知症当事者が考えた宣言です。

1. 自分自身がとらわれている常識や殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

認知症当事者は、やりたいことを続けたい気持ちを持ち、楽しく地域で活動できる可能性を持っています。各地域ならではの支え合いの形を、認知症の人と一緒につくっていきましょ。

◆地域包括支援センターへ
「ご相談ください」

地域包括支援センターは地域の総合相談窓口です。認知症に関すること

や介護保険のことなどの相談ができます。

【問い合わせ】

地域包括支援センター

中部 ☎ 26・1521

東部 ☎ 45・1016

南部 ☎ 52・2715

FAX 45・1055

FAX 52・2281

☒ houkatsushien@city.iga.lg.jp



市の取り組みを紹介します

キャラバン・メイトいが

認知症になっても支え合い、寄り添いながら生活できるまちをめざす団体です。

《活動内容》

- 認知症の人と家族への応援者である「認知症サポーター」の養成
- キャラバン・メイト同士の交流会（養成講座の内容等検討の場）
- 認知症について接し方の勉強会など



◆認知症サポーター・認知症ジュニアサポーター養成講座を開催します！

「認知症サポーター・ジュニアサポーター（小・中学生）」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。

あなたも一緒に認知症サポーターになりませんか。申し込みは地域包括支援センター中部までご連絡ください。

10人以上の地域団体を対象に「出前講座」も開催しています。



認知症カフェ

「認知症について相談したい」「仲間の話を聞きたい」など気軽に話しませんか。本人・家族はもちろん、認知症について知りたい人ならどなたでも参加できます。毎月開催しています。

日程は広報紙でお知らせしますので、お気軽にお越しください。



脳の健康チェック（もの忘れ相談）

物忘れを早期に発見するため、物忘れ相談プログラムによる脳の健康チェックと保健師による相談を年6回行っています。

次回は次の日程で行います。

【とき】

9月25日(金) 午前10時～11時30分

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階多目的室

